

会合

令和7年度 ASEAN 向け省エネ支援事業 CN 診断中間ミーティングを実施

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて令和8年1月29日本年度の AJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)スキーム5活動の一環として CN 診断中間ミーティングを開催し、CN 診断結果・CN 診断状況を報告し、ASEAN 内で共有しました。

- (1) 産業部門の半導体製造工場（シンガポール）、開発省ビル（ブルネイ）の CN 診断結果報告およびカンボジア工科大学ビルの CN 診断経過報告
- (2) スキーム5の CN 診断の概要説明（ACE）
- (3) CN プロジェクトスタートアップミーティングの概要説明と今後の展望の説明（ECCJ）



開講挨拶（ECCJ&ACE）



ASEAN 参加者

今年度の AJEEP スキーム5 プログラムの一環として、産業部門ではシンガポールの半導体製造工場、ビル部門ではブルネイの開発省ビルおよびカンボジア工科大学ビルを対象に、ASEAN 内の実機工場／ビルでの CN 診断を実施しました。今回のミーティングは CN 診断結果を ASEAN 内で共有することを目的に開催され、CN 診断実施者を中心に ASEAN から 25 名、ACE から 6 名、ECCJ から 11 名の合計 42 名が参加しました。シンガポール、ブルネイから CN 診断結果およびカンボジアから CN 診断経緯の報告を実施し、ECCJ から資料のアドバイスや講評を実施するとともに CN 診断の課題について議論しました。

- (1) シンガポールから CN 診断結果報告があり、太陽熱利用による CN 対策と 9 件の省エネ対策が提案され、これを基に中長期計画の策定を実施します。
- (2) ブルネイの開発省ビルから CN 診断結果報告があり、太陽光パネル利用による CN 対策と 6 件の省エネ対策が提案され、シミュレーションによるケーススタディを実施しました。
- (3) カンボジア工科大学ビルで実施した ZEB 診断結果について CN 診断経緯の報告があり、教室の CO2 濃度測定結果から換気制御の必要性が確認できました。
- (4) 2月に実施する予定の CN プロジェクトスタートアップミーティングで最終的な中長期計画の策定を行い、上司の承認を得て、CN プロジェクトが開始されることを説明しました。
- (5) 今年度の CN 診断は 1 工場・2 ビルで実施しましたが、3 年間のスキーム5でミャンマー、ベトナムを除く 8 カ国で CN 診断を実施できました。今年度の成果を基に広く CN 診断活動を拡大することで、ASEAN で CN 診断が可能な人材を育成し、CN プロジェクト形成による日本企業への裨益に繋げていきます。

*AJEEP : ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム